

ダラスにおける安全対策連絡協議会の結果概要

令和8年5月
在ヒューストン日本国総領事館

1 日時・場所・出席者

(1) 日時

5月28日10:00～11:15

(2) 場所

ダラス日本人会事務局会議室

(3) 出席者

ダラス日本人会会員企業、日系航空会社・旅行代理店、日本人医療関係者

2 総領事館からの説明

(1) 目的

FIFA ワールドカップ 2026 において日本代表の試合が6月14日及び6月25日にダラス近郊のアーリントン市にある AT&T スタジアムにおいて予定されており、多数の邦人サポーターが日本、アメリカ、カナダ、メキシコ等からダラス周辺に来訪することが想定されている。在ヒューストン総領事館としては、その最も重要な責務の1つである邦人保護に万全を期すべく準備・対策を講じている。安全対策連絡協議会もその一環であり、大規模災害（ハリケーン、竜巻等）・大規模事故（航空機事故、高速道路の多重衝突等）・テロ事件（スタジアム・ホテル爆破、銃乱射）等の緊急事案が発生した場合の安否確認及び要救護邦人の保護等のための連絡体制の構築が目的。

(2) 連絡体制の構築

特に、旅行者については、連絡先の把握が困難となることが予想されるため、日本からの邦人旅行者が利用する日系航空会社、ワールドカップ観戦ツアーを催行している旅行会社、邦人旅行者が怪我や急病になった際の病院や邦人医師との連携を重視し、連絡体制を構築することを企図。

(3) 現地関係機関との連携

在ヒューストン総領事館は、大規模災害、大規模事故、テロ事件等の緊急事態が発生した際の正確な情報の入手のため、アーリントン市、ダラス市、FIFA 等と緊密に連携しており、七条恒在ダラス名誉領事の尽力によりアーリントン市警副本部長、ダラス市警本部長特別補佐官、FIFA ダラス会場警備責任者の方を講師として招き、ダラス会場における FIFA ワールドカップ 2026 の開催について、講義を企画。

(4) 在ヒューストン総領事館の体制

在ヒューストン総領事館は、日本代表の試合日の前後を含めた3日間、アーリントン市の協力を得て、邦人保護のためにダラス臨時事務所を開設。ダラス臨時事務所の場合、開所時間、連絡先等を広報するために、リーフレット「ダラスで困ったら」を作成し、既に、日系航空会社3社の協力を得て、日本からダラスへの往路便において、邦人サポーターへ配布する方向で調整中。

3 講義

講師：FIFA ダラス会場警備責任者、ダラス市警本部長補佐、アーリントン市警副本部長
司会進行：七条名誉領事

(1) ダラス会場の概要

FIFA ワールドカップ 2026 のダラス会場は、①試合会場 (AT&T スタジアム)、②ファンフェス会場 (Fair Park)、③国際放送センター (IBC) (Kay Bailey Hutchison Convention Center Dallas)、④交通ハブ (Trinity Railway Express (TRE) 、TRE の Center Port 駅 (スタジアムまでのシャトルバス発着点)、スタジアム駐車場) からなる。ファンフェスは3 4日間開催され、ピーク時の参加者は約3 万5 千万人 (のべ約1 0 万人) の予想。

(2) セキュリティ体制と人員配置

開催都市委員会 (Host City Committee) は、FIFA、米国連邦政府、警察等の法執行機関、消防等と連携・調整しながらW杯の準備を進めており、総合運用センター (Joint Operation Center) で相互に情報を共有。W杯開催中はセキュリティ体制を強化し、ダラスでは毎日約6 ~ 7 百人の警察官をファンフェス会場、IBC、ホテル、エンターテインメント地区に配置。アーリントンでは毎試合約2 百人の警察官をスタジアム周辺に配置。現時点で特定可能なテロの脅威情報はなく、アーリントン市警は情報と事案の種類に応じて対処。

(3) ファンフェス&メディア運営

ファンフェスは入場無料の公共イベント。持ち込み品をクリアバッグポリシーの下、厳格に制限・管理。ファンフェス会場内外に給水所と救護所を設置。また、IBC は2 4 時間無休の放送施設で、約4 千人のメディア関係者が活動の見込み。

(4) 交通・移動計画

主要ハブはTRE の Center Port 駅 (スタジアムまでのシャトルバス発着点)、TRE の Victory 駅 (ダラス) 及びFort worth 駅 (フォートワース)。Center Port 駅からAT&T スタジアムまでは約3. 5 マイル (約5 km) あるため、酷暑の中での徒歩は避け、シャトルバスを利用することが無難。ダラス会場 (上記 (1) ①~④) の移動手段として、1 2 5 台の循環バス、TRE、Dallas Area Rapid Transit (DART) が運行する路面電車、シャトルバス、Center Port 駅でのライドシェア待機等がある。観客の約7 割がダラスから、約3 割がフォートワースからスタジアムへ来場すると想定。主要な移動手段となる循環バスは試合開始の約5 時間前から運行。

(5) スタジアムへの入場

入場ゲートはキックオフの3 時間前にオープン。入場前に厳格なセキュリティ検査を実施し、持ち込み禁止物を所持している場合、これを放棄しない限り入場が拒否される。なお、ファンフェス会場では空容器の持ち込みを許可する方針であるが、スタジアムではより厳格になる可能性がある。

(6) 医療支援等

スタジアム、駐車場、Center Port 駅、ファンフェス会場では、救護所に加え、熱中症対策のための冷却エリアと給水所を設置。

(7) 緊急通報

緊急通報の 9 1 1 ダイヤルではあらゆる主要言語の通訳サービスが無料で利用可能。

(8) 気象予報

試合の実施計画のために国立気象局と緊密に連携。

(9) 安全な滞在のためのアドバイス

- ・水分補給を心がける。
- ・夜間は一人で外出しない。
- ・人目の少ない場所や時間帯での ATM や銀行の利用はしない。
- ・混雑回避のため、可能な限り公共交通機関を利用する。
- ・時間に余裕を持ってスタジアムに来場する。
- ・FIFA アプリ（多言語対応）をダウンロードし、開催都市委員会のソーシャルアカウント (DallasFWC26)、アーリントン市やダラス市の Facebook、Instagram、Twitter 等により最新情報を常に確認する。